**「フィールドコード」の操作②―ルビ（送り仮名）のアレンジ－２（テキストボックスでの利用）**

Copyright(c) Beginners Site All right reserved 2017/01/31

**フィールドコード**」では様々な「**文字列**」アレンジが可能です。

操作したい文字列を選択し、その中で右クリックしてメニューの「**フィールドコードの表示／非表示**」で調整します。

|  |  |
| --- | --- |
| **ルビの作成**は、「**ホーム**」タブのリボン「**フォント**」から「**ルビ**」ボタンをクリックして作成します。 | テキストボックスは「**挿入**」タブのリボン「**テキスト**」から「**テキストボックス**」をクリックし「横、あるいは縦書きテキストボックスの描画」をクリックします。 |

**※フィールドコード表示方法は→**文字列を選択して**右クリック**→「**フィールドコードの表示/非表示**」を選択でOK。

|  |  |
| --- | --- |
| 以下のように、「**テキストボックス**」の文字列に文字列とは異なる「**ルビ**」を付け事が出来ます。    **《方法》**  上の例であれば  **最初にルビにする文字列の「いい日旅立ち」と予め入力して「コピー」しておきます。**   1. 「横**書きテキストボックス**」を作成します。 2. 「京都旅行」と入力。 サイズ＝「１８ｐｔ」　フォント＝「英角ゴシック」   「**中央揃え**」に。  ※テキストボックスの長さを調整します。   1. 「京都旅行」に「ルビ」を付けます。   対象文字が分かれた場合「**文字列全体**」をクリックして下さい。 | 1. 「**いい日旅立ち**」とルビを入力。（サイズ＝５ｐｔ）     　→「ＯＫ」   1. ルビの文字を「赤色」に設定します。 ルビの入った「京都旅行」を選択して、右クリックします。「**フィールドコードの表示／非表示**」を選択し、     　「いい日旅立ち」部分を「**文字色**赤」に設定します。   1. 今度はテキストボックス内をテクスチャで**塗りつぶします。**     **以下に作成してみましょう。** |

**次のページで練習しましょう。**

**左の例題にあるように、右欄で練習しましょう。**

**「フィールドコード」で「囲い文字」の文字列をアレンジしましょう**

**《例　　題》**

「図形」に入れる。※「**テキストの追加**」を思い出しましょう。

ＣＤ教材収録の「ひまわり」の写真を使用。

**《練　　習》**

限られた大きさの図形の中にフィールドコードが表示されるので、

**一時的に図形のサイズを変更し、全てのフィールドコードを表示させます。**

設定後、図形の大きさを任意のサイズに変更・調整しましょう。

※**「ゴッホ」がルビです**。ルビを下に配置するには、フィールドコード内の「**ＵＰ**」を「**ＤＯ**」に変更します。（半角英数）

「**図形の効果**」も復習してください。